

ラピッドテスト ストレップA 操作方法

HELLO KITTY

©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. L613321



ラピッドちゃん®

SEKISUI

体外診断用医薬品
承認番号21400AMY00228000

キットの中身を確認しましょう



- ・テストスティック
- ・検体抽出液
- ・綿棒
- ・テストチューブ
- ・チューブスタンド
- ・陽性コントロール
- ・陰性コントロール

検査の前に用意しましょう



手袋

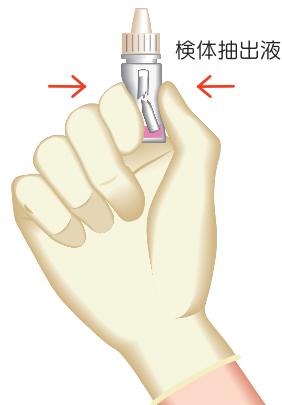


タイマー

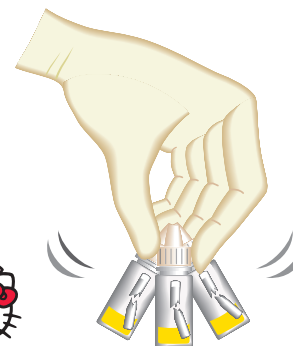


感染性廃棄物
処理用ごみ箱

- 1 検体抽出液容器のボトルを
指で挟んでボトル中のアン
ブルを割ります。



- 2 検体抽出液ボトルを3～5回
振ります。2つの試液が混ざ
ると溶液の色がピンク色か
ら黄色に変化します。



- 3 キット付属のテストチューブ
に検体抽出液のボトルを6滴
滴下します。



注意!

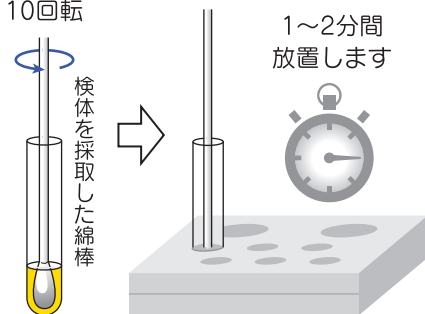
6滴を守ってください。
検体抽出液を入れすぎ
るとライン不良の原因
になります。

- 4 検体を採取した綿棒をテストチュー
ブの内壁に沿って少なくとも10回転
させ、十分に溶液と検体を混和し、
1～2分間放置します。

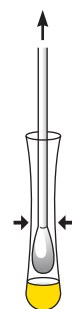
10回転

検体を採取した綿棒

1～2分間
放置します



- 5 テストチューブと綿棒を
強く挟み、綿棒の軸をひ
ねり、溶液を搾り出しな
がら綿棒を引き出します。
残った液を試料とします。



- 6 缶から出したテストスティックを試料の入ったチューブに入れ、5分後に
結果を判定します。

注意!

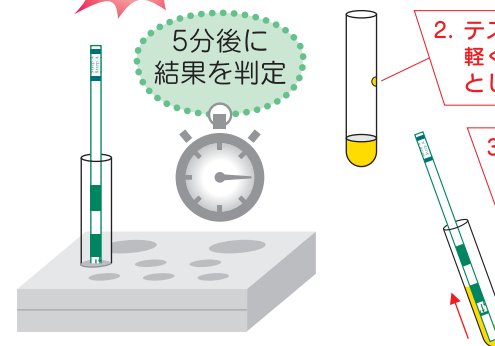
1. テストチューブはチューブスタンドに立ててご使用ください。

5分後に
結果を判定

2. テストチューブの内壁に付着した液滴は、
軽くチューブをゆすり、液滴を底部に落
としてからスティックを入れてください。

3. テストスティックはチューブの内壁
に接しないよう中心部に入れてくだ
さい。

チューブを斜めにしてスティックを入
れるとチューブ内壁とスティックの隙
間を検体抽出液が流れてしまう場合が
あります。この場合正常に反応ライン
が出なくなる場合があります。



キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

製造販売元

積水メディカル株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号
【お問合せ先】カスタマーサポートセンター：0120-249-977

<http://www.sekisui-medical.jp/>

ラピッドテスト ストレップA

注意事項

HELLO KITTY
©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. L613321



ラピッドちゃん®

SEKISUI

体外診断用医薬品
承認番号21400AMY00228000

判定上の注意事項（陽性、陰性および無効例）を以下に示します。

判定例

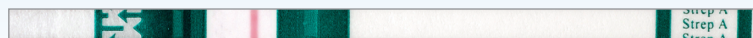
テスト部位 コントロール部位

陽性



ラインの一部に欠けが認められたり、破線となる場合がありますが、ラインが確認できれば有効なラインと判定します。

陰性



無効例

判定窓にコントロールライン（赤色）が現れない場合やバックグラウンドの色が濃くコントロールラインの有無が確認できない場合は無効と判定します。

無効



検体吸収部分

判定窓

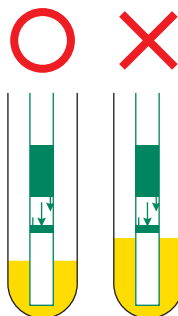
ハンドリング部分

操作上の注意事項

🍀 検体抽出液の滴下数は6滴です

調製した検体抽出液をチューブに滴下する際に滴下する量が多いと、判定ラインやコントロールラインが薄かったり出現しないことがあります。チューブに滴下された検体抽出液量が多いと、テストスティックの試薬を含む部分が検体抽出液に浸かってしまい、反応に必要な試薬が十分に判定窓まで運ばれないことがある為です。

6滴の滴下数を守ってください。



🍀 テストスティックはテストチューブの中心部に

テストスティックの側面がテストチューブの内壁に触れると、その隙間を検体抽出液が移動し、本来とは異なる異常な流れを生じる場合があります。この場合、反応ラインが出なかったり、ラインの一部が欠けたり、破線になることがあります。

テストスティックは試験管立てに立てたテストチューブの中心部にまっすぐに入れてください。



毛細管現象により、検体抽出液が隙間を移動してしまう。

キットご使用の際には添付文書をよくお読みください。測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果などと合わせて担当医師が総合的に判断してください。

「ラピッドテスト」は積水メディカル株式会社の日本における登録商標です。